

**特定多国籍企業グループ等報告事項等・最終親会社等届出事項の提供義務者が複数ある場合における代表提供者に係る事項等の提供(付表)に関する
CSVファイルに係るレコードの記録要領**

○ 各項目の記録に当たっての留意事項

(1) 各項目共通

- イ レコードごとに行末で改行を行ってください。
改行コードは、「CRLF」、「CR」、「LF」のいずれも許容します。

(例) 3レコード分のCSVファイルを作成する場合
1,○○◇株式会社,・・・(省略)・・・,11111111111111(改行)
1,○○◎株式会社,・・・(省略)・・・,22222222222222(改行)
1,○○△株式会社,・・・(省略)・・・,33333333333333(改行)

- ロ 各項目内に半角文字の「,(カンマ)」を使用する場合、各項目を「”(ダブルクォーテーション)」で囲ってください。

(例)
正: "xxStreet9999, xxxbldg." → 変換後: xxStreet9999, xxxbldg.
誤: xxStreet9999, xxxbldg.

- ハ 各項目内に改行コードを使用する場合、各項目を「”(ダブルクォーテーション)」で囲ってください。
改行コードは、「CRLF」、「CR」、「LF」のいずれも許容します。

(例)
正: "xxStreet9999(改行)xxxbldg." → 変換後: xxStreet9999(改行)xxxbldg.
誤: xxStreet9999(改行)xxxbldg.

- ニ 「”(ダブルクォーテーション)」で囲んだ項目において、項目内に「”(ダブルクォーテーション)」を使用する場合
項目内のダブルクォーテーションの直前にひとつダブルクォーテーションを付加してください。

(例)
正: "xxStreet9999""xxxbldg."" → 変換後: xxStreet 9999"xxxbldg."
誤: "xxStreet9999"xxxbldg.""

(2) レコード数

- 5000 レコード以内で記録してください。
なお、改行コードのみのレコード(空行)および各項目内の改行は、カウントされません。

(3) 利用可能文字

- e-Tax利用可能文字を記録してください。なお、文字コードはシフトJISで記録してください。

(4) 各項目の設定方法

- 各項目の設定については、別表を参照して記録してください。

別表 CSV記録方法

項番	項目名		入力文字基準		記録要領	必須種別	備考
			文字種	文字数			
1	提供内容	特定多国籍グループ等報告事項等・最終親会社等届出事項	半角数字	1	特定多国籍グループ等報告事項等を提供する場合は「1」を、最終親会社等届出事項を提供する場合は「2」を記録します。	必須	
2		法人名	全角/半角	100	法人名を記録します。	必須	
3		納税地	全角/半角	100	納税地を記録します。	必須	
4		代表者氏名	全角/半角	30	代表者氏名を記録します。	必須	
5		法人番号	半角数字	13	法人番号が指定されている場合は必ず記録します。	任意	・1つのCSVフォーマット中に同一の法人番号は複数記録できません。